



2023年度（2024年3月期）

第2四半期決算 補足説明資料

2023年11月9日

ぴあ株式会社

東京証券取引所プライム市場

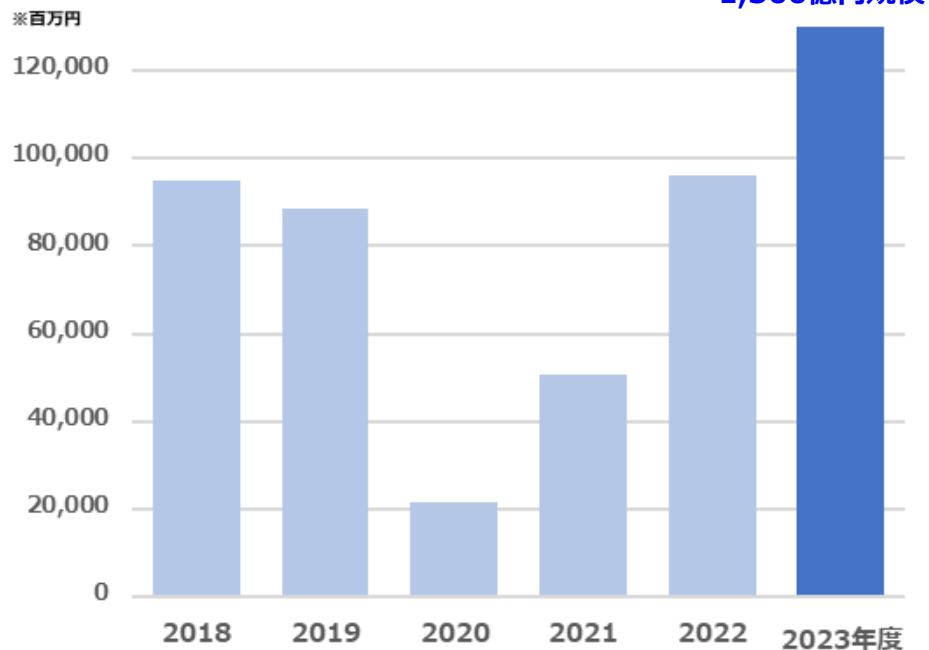
証券コード：4337

2023年度第2四半期 決算のポイント ～概要～

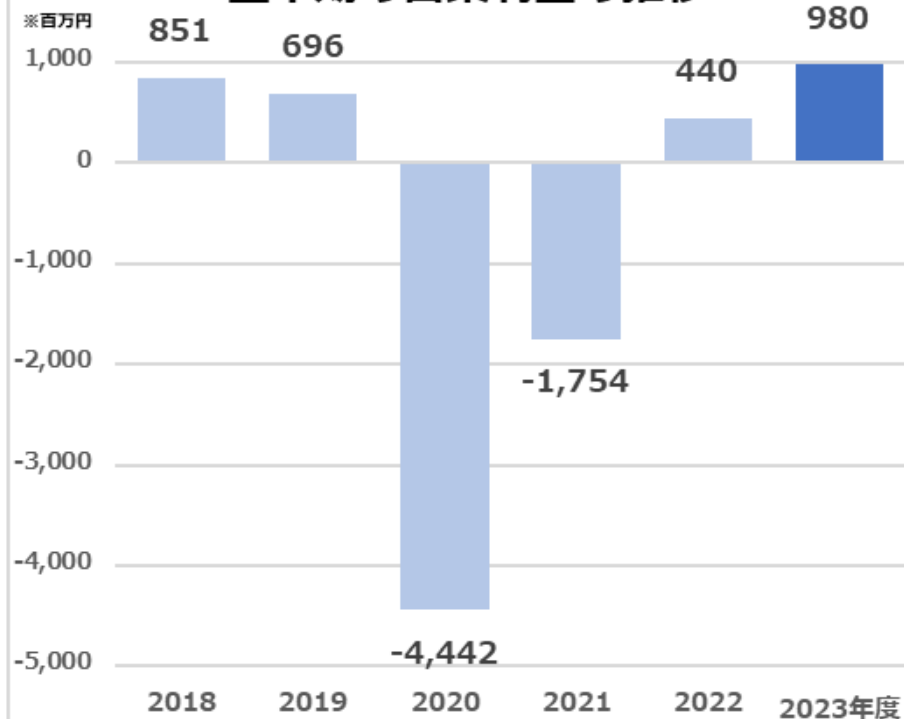


◆中期経営計画初年度の上半期業績は、当初想定水準を上回る形で推移、通期でも目標達成を見通せる状況。人気アーティストの全国ツアーやドーム規模の来日公演、大規模フェス、プロスポーツの国際大会等の大型案件の発売が集中し、取扱高は、昨年度上半期の約960億円を上回る、過去最高の1,300億円規模に。今後は、成長事業群、トライアル事業群への戦略的投資を強化するとともに、人的資本経営への注力を進める。

上半期の取扱高の推移



上半期の営業利益の推移





- ◆**新型コロナウイルス感染症の5類移行後の市場回復と、反動消費の追い風を受け、基幹事業群の実績は、コロナ禍前を上回る形で好調に推移。ただし、諸物価の上昇や業界全体の人手不足等により、特にこの間、急伸長してきた主催興行も含む各種イベントの開催・実施等については予断を許さない状況。下期以降については市場全体の減速リスクがあるものと想定する。**
- ◆**成長事業群、トライアル事業群については、第2四半期～第3四半期にかけて順次本格的な事業化をスタート。現時点では赤字運営だが、基幹事業群の好調を背景に、中期経営計画の最終目標達成に向けて、新規事業群への戦略的投資を拡大・強化する。**
- ◆**こうした事業群の継続的な成長を確保するとともに、この間の社会情勢を踏まえ、人財の確保・拡充を当社経営の中核に据えた“人的資本経営”にも注力し、従業員の各種処遇の改善や、人的補充の活発化、働き方改革の強化や職場環境の整備等を進める。創業50周年を経て、「変身」を経営テーマに据えた持続可能な事業構造の変革を目指す上でも、人的資本経営の強力な推進が肝要と捉える。**
- ◆**中期経営計画に掲げた初年度の通期業績の達成見込みが高いことから、上期時点で賞与の引当を行った。今年度からの実質約9%のベースアップ、一般職正社員制度の新設、中途社員の採用拡大等と並行した、人的資本に対する経営意思の表明でもある。**



- ◆ 下半期については、こうした、
 - ・ 物価上昇や人手不足等による集客エンタメ市場の減速リスク
 - ・ 中期計画達成に向けた戦略的投資活動の強化(新規事業の赤字幅の拡大)
 - ・ 経営全般に及ぶ人的資本の確保・拡充、待遇改善の遂行
 - ・ 「関西万博」等の大規模受託事業の帰趨が不透明なこと等を勘案し、通期予想は据え置く。